

総序

ああ、弘誓ぐぜいの強縁ごうえん（な）、多生たしやうにも値もうあひがたく、
真実じやうしんの浄信じやうしん（な）、億劫おつこうにも獲えがたし。たまたま
行信ぎやうしんを獲えば、遠しゆくえんく宿縁しゆくえんを慶よろこべ。もしまたこのた
び疑網ぎもうに覆蔽ふへいせられ（な）ば、かへつてまた曠劫こうこく
をきやうりやく経歴まことせん。誠まことなるかな（や）、摄取せつしゆふしや不捨ふしやの真言まこと、
超世ちやうせけう希有しやうぼうの正法もんし、聞思ちりよして遅慮ちりよすることなかれ。

（親鸞聖人『顕浄土真実教行証文類』総序

『浄土真宗聖典註釈版』一三二頁）

回向句

調声じしんきやうにんしん 自信じしんき教人きやうにん信しん みづから信じ人を教へて信ぜしむること、

同音なんちゆうてんきやうなん 難中なんちゆう転更てんげう難なん 難なんきがなかにうたたささらに難し。

大悲だいひ伝普でんぷ化け 大悲だいひをもつて伝へてあまねく化するは、

真成しんじやう報ほう仏恩ぶつとん まことに仏恩を報ずるになる。